

2018年3月



金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
一般社団法人 投資信託協会会員 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会会員

## 「オークマーク・グローバル・セレクト・ファンド」が リップパー・ファンド・アワード 2部門で受賞

この度、ハリス・アソシエイツ社が米国で運用する「オークマーク・グローバル・セレクト・ファンド」が、2018年リップパーファンド・アワードにおいて、グローバル・ラージキャップ・バリュー・ファンド カテゴリー評価期間3年および5年部門の2部門で受賞いたしました。

同ファンドは、トニー・コニアリス氏、デビッド・ヒーロ氏、エリック・リュウ氏、ビル・ナイグレン氏が担当し、世界中の銘柄からハリス・アソシエイツ社のバリュー投資プロセスにより運用しています。

ハリス・アソシエイツ社およびオークマーク・ファンドのプレジデントであるクリスティ・ロウゼル氏は、「リップパー社がグローバル・セレクト・ファンドならびに当ファンドの運用チームを評価して下さったことを光栄に思います。私たちのバリュー投資への一貫した運用アプローチは、投資家の皆様に長期的にプラスのパフォーマンスを実現することに私たちが専念していることを表しています。」と述べています。

リップパー・ファンド・アワードはリップパー社が毎年表彰するもので、世界中の投資信託の中から優秀なパフォーマンスをあげた運用会社に贈られます。当賞はトムソン・ロイター賞のエクセレンス・プログラムの一環でもあります。

リップパーファンド・アワードは36、60、120カ月間にわたって計算されたリスク調整後の独自指標である「リップパーリーダーズ・コンシスタントリターン(収益一貫性)レーティング」を用いています。各部門のコンシスタントリターンの最も高いファンドが、リップパーファンド賞を受賞します。「オークマーク・グローバル・セレクト・ファンド」は2017年11月30日までの評価期間で3年(対象11ファンド)、および5年(対象10ファンド)の両部門でトップの成績を収めました。

以上

■当社がハリス・アソシエイツ社に運用を委託している各ファンドと、同社が米国で運用するオークマーク・ファンド・シリーズの投資哲学や基本的な運用方針等は共通のものです。当社では、当社が提供する各ファンドの運用内容をお客様がご理解頂くうえで有益と思われる情報を提供して参ります。

※上記はハリス・アソシエイツ社が設定するファンドが受賞したもので、当社のファンドとは異なります。また、過去の実績が評価されたもので、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

## ■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.4% (税抜 5.0%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用  
…………… 信託報酬 上限 1.998% (税抜 1.85%)
- その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料は、朝日ライフアセットマネジメントが、提携先であり、運用を委託しているハリス・アソシエイツエル・ピー社がホームページに掲載した資料を、同社の情報提供を目的として、日本のお客様向けに日本語に翻訳したものです。したがって、特定の金融商品の勧誘を目的としたものではありません。本文中に特定の銘柄についてのコメントがある場合、当銘柄についての投資の助言や取引の推奨を行うものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。十分な注意を払い翻訳しておりますが、英文と日本語の内容に相違が生じた場合には、英文が優先するものとします。なお、英文につきましては <http://www.harrisassoc.com> をご参照ください。資料の記載事項については資料作成時の執筆者の見解であり、将来予告なく変わることがあります。

1803127